

2026年度 11月期 入学試験問題

発達心理学専攻

発達臨床心理学コース

[博士課程（前期）]

専門科目

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
2. 試験開始の合図があったら、解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を記入してから問題にとりかかること。
3. 問題1問ごとに、1枚の解答用紙を使用すること。1枚で書ききれない場合は申し出ること。
4. 問題【1】から【4】までの4問題に解答すること。
5. 解答の際には、最初に問題の番号を明記すること。
6. 試験時間は、11時から13時までである。
7. 試験終了後、答案を回収する。問題冊子は持ち帰ること。

【1】 臨床心理の専門職として、クライアントと面接する際の重要な面接態度について5つ以上述べ、これを説明しなさい。

【2】 精神分析の「抑圧」と「投影同一化」に関して具体例を挙げながら説明しなさい。次にこの概念を用いて、戦後から現代に至る心性を論じなさい。

【3】 発達障害を抱える子どもへの早期介入の重要性について、長期的な影響を含めて論じなさい。

【4】 応用行動分析は、特別支援教育や発達支援の現場で広く用いられている実践的な理論体系です。以下の観点に沿って、応用行動分析の基本的な考え方と現場での活用について論じなさい。

- (1) 応用行動分析の基本的な考え方（例：行動の三項随伴性など）
- (2) 強化と弱化的意味の違い
- (3) 応用行動分析が有効とされる支援場面の具体例
- (4) あなたが重要だと思う応用行動分析の特徴とその理由